

教えて！ アンチ・ドーピング のこと



一般社団法人 北海道薬剤師会

健康づくり委員会

目 次



ドーピングとは

- ・ドーピングとは
- ・ドーピングの歴史
- ・なぜドーピングはいけないのか

医薬品やサプリメントなどでドーピングになるの？

- ・市販薬でもドーピングになるの？
- ・サプリメントでもドーピングになるの？
- ・ドーピング検査の実情と違反した場合の影響

ドーピングの事例

- ・貧血治療薬でテニス選手がドーピング違反
- ・日焼け止めに含まれる成分で出場停止処分
- ・会場に置き忘れた所持品から禁止物質が見つかる
- ・治療使用特例（TUE）申請なしの静脈注射
- ・競技力が戻らない焦りから意図的なドーピング



スポーツファーマシストって知ってる？

- ・スポーツファーマシストとは

スポーツファーマシスト検索

＜スポーツファーマシストの主な役割＞

- ・アンチ・ドーピング規則に基づいた指導
- ・健康維持・パフォーマンス向上支援
- ・教育・啓発活動
- ・競技環境のサポート

病院や薬局で薬をもらう、薬を買う場合

- ・病院や薬局で薬をもらう場合

薬を調べることができるサイト

- ・薬局・ドラッグストアで薬を買う場合

薬局やスポーツファーマシストに相談する際の注意点

- ・どうやって相談すればいいの？
- ・使用するか、しないかの判断は？
- ・どこに連絡すると相談できるの？

ドーピングとは

ドーピングとは、スポーツ競技能力を高めるために禁止されている物質や方法を用いることです。禁止物質の使用だけでなく、その使用を隠蔽する行為や、ドーピング検査を拒否する行為も含まれます。また、ドーピングを行った選手本人だけでなく、コーチや監督などの関係者がドーピングを支援した場合も罰せられます。

ドーピングの歴史

「ドーピング」の語源は、南アフリカの原住民カフィール族が祭礼などで飲んでいた強い酒「dop」にあると言われています。スポーツ界では、1865年のアムステルダム運河での水泳競技でドーピングが行われた記録があり、1886年の自転車レースでは、ドーピングによる最初の死亡例が報告されています。その後、1980年代まで、オリンピック種目以外の各競技種目の国際競技大会では、ドーピング行為をなくすことを目的とした アンチ・ドーピングに関して統一的に適用されるルールや、競技種目間で合意された禁止物質の取り決めはありませんでした。この時期に、さまざまな競技種目において競技力向上を意図した薬物の使用が広がったと言われています。

なぜドーピングはいけないのか

ドーピングは、自身の努力、チームメイトとの信頼、競い合う相手への敬意、そしてスポーツを応援する人々の期待を裏切る、不誠実で利己的な行為です。ドーピングが存在する限り、スポーツは本来の意味を失い、成立しなくなります。



医薬品やサプリメントなどでドーピングになるの？

市販薬でもドーピングになるの？

病院で処方された医療用医薬品だけでなく、市販薬やサプリメントなどにも禁止物質が含まれている場合があります。医薬品でドーピングに該当する代表的な例として、筋肉増強作用のあるステロイド（蛋白同化薬）があげられます。その他にも、喘息の薬、利尿薬、市販の風邪薬などにも禁止薬物が含まれることが多く、注意が必要です。

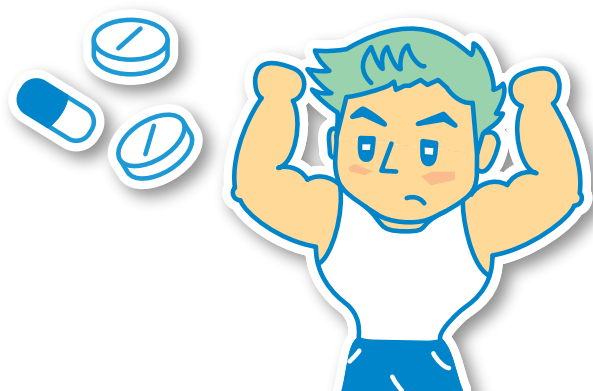
サプリメントでもドーピングになるの？

サプリメントはプロテインをはじめさまざまな種類が販売されていますが、中には身体能力向上などを目的として意図的に禁止物質が加えられている製品もあります。また、製造工場の環境や管理方法によっては、製造過程で意図せずに禁止物質が混入してしまう「コンタミネーション」が発生し、結果として禁止物質を摂取してしまう事例も報告されています。そのため、購入するメーカーや製品内容の確認が重要です。

医薬品やサプリメントなどでドーピングになるの？

ドーピング検査の実情と違反した場合の影響

2023年に実施された JADA（日本アンチ・ドーピング機構）管轄の検査件数は 6,708 件に及び、国際大会のみならず、国内のアマチュア大会でも検査が行われています。ドーピング検査で違反が確認された場合、一定期間の選手資格停止や競技大会出場禁止などの罰則が科せられます。自身の競技キャリアだけでなく、チームメイトや関係者にも影響が及ぶため、アスリートとしての自覚を持ち、ドーピングから自身を守ることが重要です。



ドーピングの事例

貧血治療薬でテニス選手がドーピング違反

女子テニス元世界 1 位の選手が、全米オープン期間中のドーピング検査で、赤血球の産生を促進する禁止薬物ロキサデュスタットへの陽性反応を示しました。また、同選手は「生体パスポート」に関連する別の違反も認定されています。

※生体パスポート（バイオリジカルパスポート）による違反事例は、特に長距離走や自転車競技で多く報告されています。この手法では、選手の血液や尿の長期的な変動をモニタリングし、異常なパターンを発見します。

(2024 年 3 月 6 日付 朝日新聞デジタル)

日焼け止めに含まれる成分で出場停止処分

ノルディックスキー世界選手権で通算 7 個の金メダルを獲得している選手から、アナボリック・ステロイドのクロステボールが検出され出場停止処分となりました。原因は、唇の日焼け止めとして使用したリップクリーム（トロフォデルミン）にクロステボールが含まれていたためでした。トロフォデルミンは発疹や切り傷に使用されることもあり、違反事例が多く報告されています。

(2016 年 10 月 20 日付 AFPBBNews)

ドーピングの事例

会場に置き忘れた所持品から禁止物質が見つかる

ボディビル選手が観客として訪れた大会で、会場に置き忘れた所持品から禁止物質が見つかり、3年間の資格停止処分を受けました。

(2024年1月16日付 産経デジタル)

治療使用特例(TUE)申請なしの静脈注射

競泳男子金メダリストが、TUEの事前申請なしに静脈注射を受けた写真をSNSに投稿し、調査を受けました。禁止物質は含まれていませんでしたが、禁止方法（静脈内注入）に該当するため資格停止処分を受けています。

(2018年7月24日付 AFPBBNews)

競技力が戻らない焦りから意図的なドーピング

自転車競技選手の検体からメルドニウムが検出され、3年間の資格停止処分を受けました。前年 COVID-19 罹患後に競技成績が振るわなかったこともあり、ウイルス性胃腸炎感染後1週間にわたり体調改善を期待して禁止成分を摂取していました。メルドニウムは、ロシア人選手の大量ドーピング違反発覚で注目された薬物です。

(2024年2月19日付 シクロワイアード.jp)

スポーツファーマシストって知ってる？

スポーツファーマシストとは

スポーツファーマシストは、運動やスポーツを行う人々を対象に、医薬品やサプリメントの適切な使用や注意点について助言を行う薬剤師です。特に、アンチ・ドーピングの観点から、アスリートやスポーツ関係者が誤った医薬品の使用により不利益を被らないようにサポートする役割を担っています。

スポーツファーマシスト検索

お近くのスポーツファーマシストを検索し、直接ご相談いただけます。



スポーツファーマシストの主な役割

① アンチ・ドーピング規則に基づいた指導

アスリートが使用する医薬品やサプリメントがアンチ・ドーピング規則に抵触しないように確認し、サポートします。また、毎年更新されるアンチ・ドーピング規程に基づき、常に最新情報を取得し研さんを積んでいます。

スポーツファーマシストって知ってる？

① 健康維持・パフォーマンス向上支援

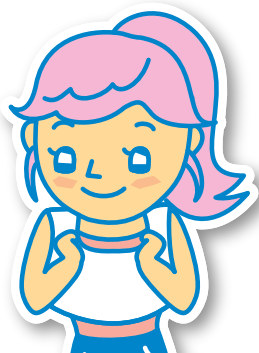
運動中や試合後の健康管理に必要な医薬品の適切な使用方法を指導します。

① 教育・啓発活動

地域や学校でのセミナーを通じて、薬の正しい知識の普及とアンチ・ドーピングの重要性に対する理解促進を図ります。

① 競技環境のサポート

医薬品の選択や使用を専門的にサポートし、アスリートが競技に専念できる環境づくりに貢献します。医師やトレーナーと連携する「チーム医療」の一員として、競技者の健康を包括的に守ります。薬剤師でもあるスポーツファーマシストは身近で相談しやすく、競技者にとって頼れる存在となっています。



病院や薬局で薬をもらう、薬を買う場合

医師から処方される医療用医薬品や、薬局・ドラッグストアで購入できる市販薬にも、禁止物質を含むものがあります。

病院や薬局で薬をもらう場合

病院を受診する際は、アンチ・ドーピングを理解しているスポーツドクターに処方してもらうことが望ましいのですが、それができない場合もあります。受診時の注意点として、①必ず医師に「アスリート」であることを伝える、②薬が処方された場合は、医師に禁止物質の有無を確認する、③薬剤師に禁止物質の有無を確認してもらう、④自分でも Global DRO で確認することが重要です。

薬を調べることができるサイト

Global Drug Reference Online<Global DRO>

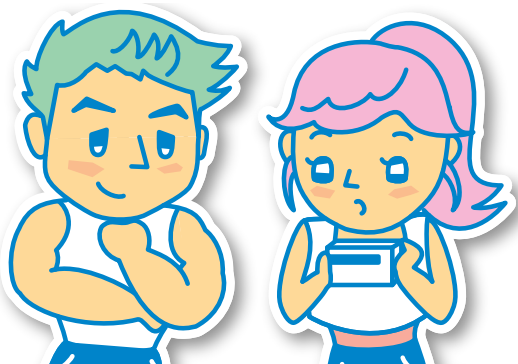
使用する薬に禁止物質が含まれているかどうかを検索することができます。



病院や薬局で薬をもらう、薬を買う場合

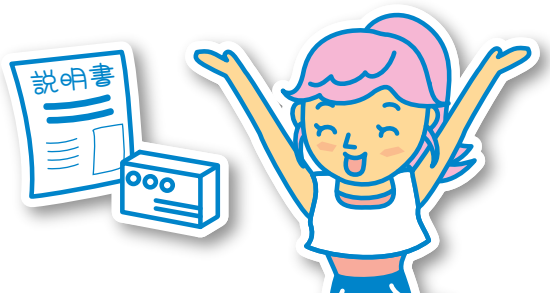
薬局・ドラッグストアで薬を買う場合

体調がすぐれず市販薬を購入することや、自宅にある薬などを服用することがあると思います。しかし、市販薬には禁止物質を含むものが多数あります。薬局・ドラッグストアでの購入時にも①「アスリート」であることを必ず伝える、②購入時に必ず成分を確認する、③禁止物質が入っていない製品を購入するようにしてください。成分がはっきりしない場合は「購入しない、使用しない」ことが基本です。特に遠征・試合時は、コーチやスポーツファーマシストに相談してから服用することを心がけましょう。



どうやって相談すればいいの？

薬やサプリメントなどの外箱や説明書のコピー、または写真を用意してから相談しましょう。市販の薬やサプリメントは種類が多く、名前が似ていたり、成分が変更されていたりする場合があります。特に、電話で相談する時は言葉での説明だけでなく、メールや FAX などを活用し、商品名や成分名を確実に伝えるようにしましょう。電話のみの相談では、聞き間違い、言い間違い、勘違いが起こる可能性があります。



使用するか、しないかの判断は？

最終的に決めるのは選手自身です。しっかりと確認を行い、コーチや監督に相談しましょう。

どこに連絡すると相談できるの？

北海道では以下の窓口で相談を受け付けています。北海道以外の場合は、各都府県の薬剤師会でも相談を受け付けています。

■一般社団法人 北海道薬剤師会

- ・ FAX もしくはメールで随時受付。
- ・ 相談回答時間：平日 9:00 ～ 16:00
(回答には時間を要する場合があります)



■公益財団法人 北海道スポーツ協会

- ・ FAX ならびにメールで 24 時間受付。
(可能な限り即日回答)
- ・ 薬物治療の相談や TUE 申請の支援をしています。



この冊子は、スポーツにおけるドーピングについて、概要、歴史、問題点、事例、医薬品・サプリメントとの関係、相談窓口などをまとめたものです。アスリートはもとより、スポーツに関わる全ての方に、アンチ・ドーピングの正しい知識と重要性をご理解いただくことを目的としています。アスリートが安心して競技に取り組めるよう、ぜひご活用ください。



日本薬剤師会
公式キャラクター

ふあるみん

北海道薬剤師会
オリジナル
シマエナガバージョン

教えて！アンチ・ドーピングのこと

令和 7 年 6 月

執筆・編集

■北海道薬剤師会 健康づくり委員■

田畑 隆政、田中 稔泰、嵯城 俊明、前田 直大、皆川 大地、
大野 伴和、桜田 尚季、笹岡 佑樹、根布谷ふみえ、野澤 晃祐、
平山 早苗、本庄 圭太、山田 真之、山本 隆弘、片岡 光法、
吉岡 信之、菅原 久雄

■アドバイザー■

笠師久美子、阿部 忍、石屋 和浩、内藤 聡、門間 康成